

令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立東部特別支援学校 伊豆高原分校 P T A
学 校 名	静岡県立東部特別支援学校 伊豆高原分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	42人

1. 使用状況

寄贈物品名	業務用刺繍ミシン(ブラザーVR100PRT5101)
使用学年及び人数	高等部1、2、3年生 42人 (特に工芸班7人)
使用頻度	週に1～2回程度
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・作業学習の時間に、工芸班の生徒が布製品に刺繍をするために主に使用しています。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシンで刺繍ができるため、完成度の高い製品を作ったり、作業効率が良くなったりしました。 ・自動で刺繍をすることができるため、どの生徒も刺繍の作業に取り組むことができるようになりました。 ・生徒たちは、ミシンの性能の高さに驚き、緊張感を保ったまま作業することができています。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、多くの製品を販売し、生徒たちが自信をもって作業できるよう、刺繍の柄と布製品の種類を考えていきたいです。 ・体操着やタオルなどの受注につながるよう、刺繍ミシンを活用した製品の売り出しや、宣伝をしていきたいです。 ・1台のミシンを多くの生徒たちがどのように使用していくのか検討していきたいです。
その他希望や所感など	<ul style="list-style-type: none"> ・刺繍ミシンを寄贈していただきありがとうございました。 作業製品の幅を広げることができました。今後も活用させていただきます。

2. 活用の様子



校名の東部特別支援学校伊豆高原分校の頭文字をアルファベットで刺繍しました。



刺繍をした布を使って、パソコンカバーを作りました。